

1 内政

(1) 最高裁判所による労働社会保障大臣に対する不逮捕特権剥奪請求の手続き開始決定
4日、最高裁判所は、テレグアリオ労働社会保障大臣に対する不逮捕特権剥奪請求の
手続き開始を決定した。憲法裁判所は、同大臣に対し、社会保険庁（IGSS）に不正に解雇
された一部職員を再雇用するよう同庁に指示を出すようにとの命令を下したが、テレグア
リオ大臣は右命令の不履行の罪で不逮捕特権剥奪請求を受けていた。

(2) モラレス政権一周年の自己評価レポート

14日、就任一周年を迎えたモラレス大統領は、モラレス政権発足後一年間の成果を記載
したレポートを国会に提出した。同レポートで強調されている成果は、主に、汚職撲滅（透
明性の確保）、保健、教育、治安の分野におけるものである。具体的な成果として、国連に
対するグアテマラ無処罰問題対策国際委員会（CICIG）のマンデート延長の申請、対
GDP徴税率の上昇、全国の公立病院に対する医薬品及び医療機器備品の供給率の上昇、
殺人率および犯罪率の減少などが挙げられている。

(3) モラレス政権一周年の評価報道

14日に政権発足一周年を迎えたモラレス政権に対し、当地主要各紙は、政治アナリスト
等のコメントを掲載した。その内、カスティージョ国立サン・カルロス大学国内問題研究
所（IPNUSAC）研究員は、14日に発表されたモラレス政権一周年の自己評価レポ
ートを「数値の寄せ集めに過ぎず、モラレス大統領が示さなければならない戦略的政策を
表していない」と評価した。また、ロビンソン駐グアテマラ米大使は「モラレス政権は、
成果も上げたが、保健、教育、栄養、治安などの分野に未だ課題がある。それらの課題に
取り組むため、政府を支援し続けなければならない」と述べた。なお、政権発足100日
及び半年の際と同様に、今回も各種メディアによって世論調査が行われることはなかった
ため、国民の大統領に対する支持率は不明なままである。

(4) モラレス大統領の息子及び実兄の逮捕・起訴

18日、財産登記所の公費流用事件への関与が疑われているモラレス大統領の息子のホ
セ・モラレス氏と実兄のサムエル・モラレス氏が逮捕・起訴された。両者は、2013年、
ホセ氏の当時の恋人の母親が関与していた財産登記所の汚職事件に関して、その母親を支
援するために、詐欺行為を犯したことが疑われており、現在予防拘禁中である（当館注：
2月16日、両者はそれぞれ10万ケツァル（約153万円）の保釈金を支払い釈放され
た）。本件に関して、同日、モラレス大統領は、自身のツイッターのアカウントに「法の支
配は全ての物事に勝らなければならない」というメッセージを投稿し、司法の独立を尊重

する姿勢を示した。

2 外交

(1) 蔡台湾総統の当国公式訪問

11日および12日、蔡台湾総統は当国を公式訪問した。11日、蔡総統はモラレス大統領との首脳会談を行い、両者は主に台湾からの支援と両国の経済関係に関して話し合った。会談にはモラレス外務大臣、エルナンデス・マック保健大臣、ガルシア通信インフラ住宅大臣が同席した。会談の後の記者会見で、モラレス大統領は、保健、教育、農業、インフラ分野における台湾の支援に感謝を述べた。これに対し、蔡総統は、今まで支援してきた保健、教育、インフラなどの分野において、今後さらに支援を強化していく考えを明らかにした。

(2) 米国に滞在するグアテマラ人移民に対するモラレス大統領のメッセージ

20日のトランプ米大統領就任式での移民に関する演説を受け、21日、モラレス大統領は、米国に在留するグアテマラ人移民に対してフェイスブックにメッセージを投稿した。メッセージの中で、モラレス大統領は、グアテマラ人移民が「夢を達成するために毎日働いている」ことを賞賛し、「移民の労働は、非常に重要であり、米国経済の発展に貢献してきている」旨述べた。また、モラレス大統領は、移民に対して法を遵守することを求めた上で、「大統領として全力を尽くし、より良い移民ステータスがもたらされることを今後も求め続けていく」とメッセージに記載した。

(3) 米政府のグアテマラ無処罰問題対策国際委員会（C I C I G）に対する寄付

25日、米政府はグアテマラ無処罰問題対策国際委員会（C I C I G）に対して、750万米ドルの寄付を行った。ティラソン米新国務長官は、トランプ政権がC I C I Gに対する支援を引き続き行っていくことを表明している。寄付の内、250万米ドルはC I C I Gケツアルテナンゴ事務所の機能強化に用いられる予定である。

3 経済

(1) 送金額の増加

4日、中銀は、2016年に当国が受け取った送金額が71.6億米ドルにおよび、2015年（62.9億米ドル）に比べて14%増加となったことを発表した。当国では、輸出に次いで、送金が2番目の外貨獲得の手段となっている。中銀は、2017年の送金受取額が、77.3億米ドル（2016年比8%増）になると推定している。

(2) 国税庁による2016年の税収額の発表

12日、国税庁（SAT）は、2016年の税収額が541億220万ケツアル（約8278億円）に達したことを発表した。同庁の目標は、538億5040万ケツアルだったため、2億5180万ケツアル（約38億5254万円）多い税収を達成した。税収額が目標を上回ったのは、2011年以来初めてのことである。

(3) 米国のTPP離脱に対するグアテマラ繊維業界の反応

23日、トランプ米大統領がTPP離脱の大統領令に署名したことに対して、グアテマラの繊維業界は好意的な反応を見せた。当国にとって繊維製品は最大の輸出品であり、その主要な輸出先は米国であるが、TPPの発効によって、同じく繊維製品を主要な輸出品としているベトナムの米国に対する輸出量の増加が見込まれていたためである。マロウフ繊維業組合副代表は、グアテマラよりも人件費が安く技術が進んでいるベトナムの脅威を認めた上で、米国のTPP離脱を歓迎する旨述べた。

(4) 2016年のGDP成長率

24日、中銀は、当国の2016年のGDP成長率が3.1%となったことを発表した。中銀は、当初、2016年のGDP成長率が3.1%~3.7%の範囲に収まると予想していた。レシーノス中銀総裁代行は、3.1%と言う数値は期待されたものではなかったものの、世界経済が減速傾向だったことを考慮すると、妥当な成長率だったと述べた。

◇主要経済指標◇	2017年	2016年		2016年	2015年
	1月	12月	11月		
インフレ率(前年同月比)	3.83%	4.23%	4.67%	4.23%	3.07%
貿易収支(百万ドル)	未発表	△488.0	△691.3	△6,532.0	△6,913.1
輸出(百万ドル)	未発表	990.9	859.1	10,465.3	10,726.2
輸入(百万ドル)	未発表	1,478.9	1,550.4	16,997.3	17,639.3
外貨準備高(百万ドル)	9,065.2	9,160.4	9,003.6	9,160.4	7,751.2
外国からの送金(百万ドル)	587.6	678.4	600.3	7,160.0	6,285.0
為替レート(対ドル月平均)	7.52	7.50	7.50	7.62	7.65

(出所：中銀、国立統計院)

注) 2015年及び2016年の為替レートは年平均